

電気通信大学 平成21年度シラバス

授業科目名	人間と教育		
英文授業科目名			
開講年度	2009年度	開講年次	3年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-上級講義		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	佐々木 啓子		
居室	東1-513		

公開E-Mail	授業関連Webページ
kesasaki@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>教育とは何かを考えると、どのような人間に育てるかという人間観の問題に突き当たる。人間についての問いは古代より先哲によって問われてきた。カントは人間は人間によってはじめて人間となることができるといふ。本講義では教育を人間との関わり、特に家族における子どもと親の関係性や、教師と生徒の関係性を主に西洋教育史のなかで追求したいと思う。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
<p>配布資料によるが以下の文献を予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J.ルソー『エミール』（1762年）今野一雄訳，岩波文庫，1962年。 ・Ph.アリエス（1960年）杉山光信・杉山恵美子訳『＜子供＞の誕生—アンシャン・レジーム期の子供と家族生活』みすず書房，1980年。 ・森田伸子『子どもの時代—『エミール』のパラドックス』新曜社，1986年。 ・E.ショーター『近代家族の形成』（1975年）田中俊宏他訳，昭和堂，1987年。 ・広田照幸『日本人のしつけは衰退したか』講談社，1999年。

電気通信大学 平成21年度シラバス

【授業内容とその進め方】

【授業内容】

1. 古代ギリシャの教育思想—ソクラテス、プラトン
2. 中世、ルネッサンス、宗教改革、啓蒙主義の教育思想
3. 「近代家族」の形成と教育
4. 子どもに対するまなざしの変化
5. 「家庭」「学校」「生徒」「子ども」の認識過程
6. <教育的>なるものを問い直す
7. 規律・訓練的空間としての学校
8. 学校空間における「個性」の生産

【授業の進め方】

講義形式とする。文献の抜粋を読んでコメントを求める。

【授業時間外の学習（予習・復習等）】

教育に関する本をできるだけ読んでください。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

最終レポート50%、適宜、授業中に提出のコメント30%、出席率などの平常点20%による総合評価。

【オフィスアワー：授業相談】

短時間（5分程度）の相談は随時可能。その他の相談は電子メールにて受け付け相談時間を設定。

【学生へのメッセージ】

皆さんがこれまで受けてきた教育—家庭教育、学校教育を振り返ってみてください。古代より人々が求めていたより良く生きる、より良い人間に育てたいと思う親や教師の気持ちが、近代にどのようにつながっていったか、あるいは変化して今日に至ったかを、西洋社会、そして現代の日本まで通時的に追及したいと思います。

【その他】

特になし